

# 第7回JDKF. 空手道競技大会

## 競技申し合わせ事項

### 競技について

試合ルールは、(公財)全日本空手道連盟 競技規定 (2023年4月1日発行の「空手競技規定」) および本大会の申し合わせ事項に準じる。

### 形競技

#### 個人形

1. トーナメント方式で準決勝までは2名同時に演武、決勝戦のみ1名ずつ演武。  
(ただしプログラム進行によっては決勝戦まで2名同時に演武する場合もある。)
2. 3位決定戦は行わない。
3. 勝敗について  
審判員5名の赤・青旗の多数決により決定する。  
ただし、違反の際は審判員が協議して決める。
4. コート入退場方法は斜め入場とし、コート外での礼は省略する。(コート内での始めと終わりの礼は必須とする。) ※3ページ参照

#### 団体形

5. プールに分け、第1ラウンドから第2ラウンド通過競技者を決定する。
6. 第1ラウンドから決勝戦・3位決定戦まで同じ形を繰り返し演武できる。
7. 第2ラウンド演武順については、抽選により決定とする。
8. 勝敗について
  - ・採点方式により決定する。
  - ・演武前後の礼および同調性を重点的におき、演武すべての面において能力を発揮できた競技者を評価する。

### 組手競技

1. 3位決定戦は行わない。
2. 双方が無得点又は同点の場合は、先取のある競技者を勝ちとする。
3. 競技時間は、幼年～小学生は1分30秒間フルタイム、中学生以上は2分間フルタイムとする。
4. 勝敗は、競技時間内に6ポイント差が生じた時点又は競技終了時点で、得点の多い競技者を勝ちとする。
5. 小学生以下の部においては、突き蹴りとともに、上段へ接触した場合は軽微であっても原則的にC1違反とする。
6. 小学生以下の部においては、足払い、投げ技を禁止する。
7. 小学生以上は、倒れたり、投げられたり、又ノックダウンされ10秒以内に立ち上がることができなかった競技者はその大会期間中全ての組手競技への出場はできない。(10カウントルール)
8. 次の合図においては、情報保障のために、ライトを点灯する。
  - ・ヤメ：赤色(回転灯)・・・競技者の動きが止まるまで。
  - ・あとしばらく：青色(回転灯)・・・2秒間点灯
9. 安全具
  - ・組手全種目の競技において、全空連公認の拳サポーター、同メンホー及びボディプロテクターの着用を必須とする。

- ・全空連、高体連およびWKF公認のインステップガード、シンガードの着用を必須とする。
- ・男子競技者（小学5年以上）はセーフティーカップを必ず着用すること。（小学4年以下は任意とする。）

## 服装

1. 胸マークは自由とする。
2. 自分の赤帯・青帯（マイ帯）を着用もしくは赤紐・青紐（マイ紐）を自分の帯の上から着用すること。（マイ帯/マイ紐を持っていない競技者はJDKF.の赤紐・青紐を借用し、終了後は必ず返却すること。）
3. 形競技での補装具（補聴器等）の装着を認める。

## その他

1. 参加者が1名の場合は、競技を行わず、演武披露のみとする。

## お願い

ろう者の競技者は審判員の合図の音が聞こえません。

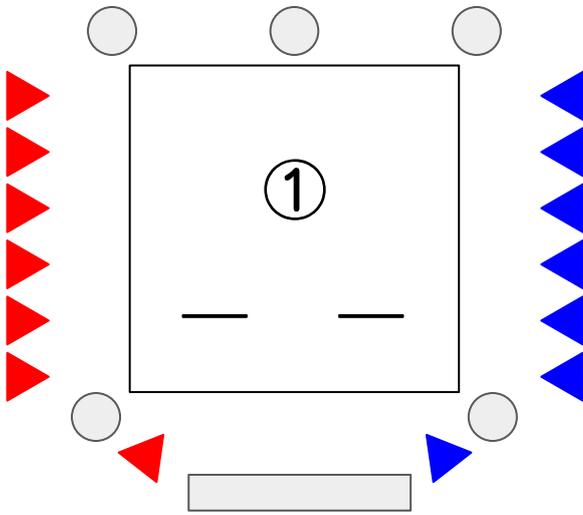
そのため、「はじめ」の合図を、手話で表現いただくよう、ご協力をお願いします。

動画をチェック→[https://youtu.be/c\\_bdRp6fLg8](https://youtu.be/c_bdRp6fLg8)

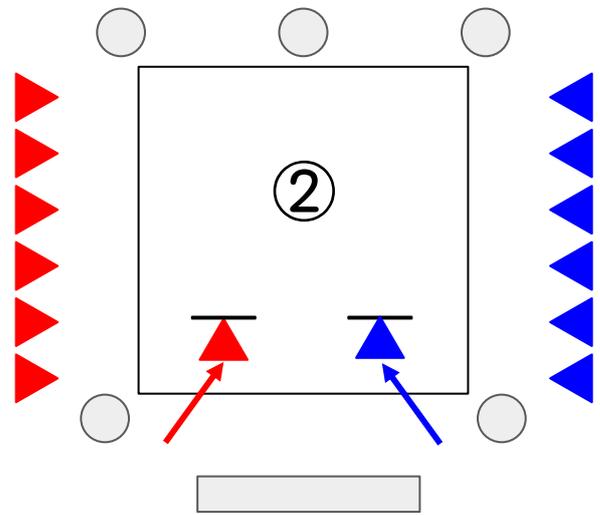


「勝負はじめ」

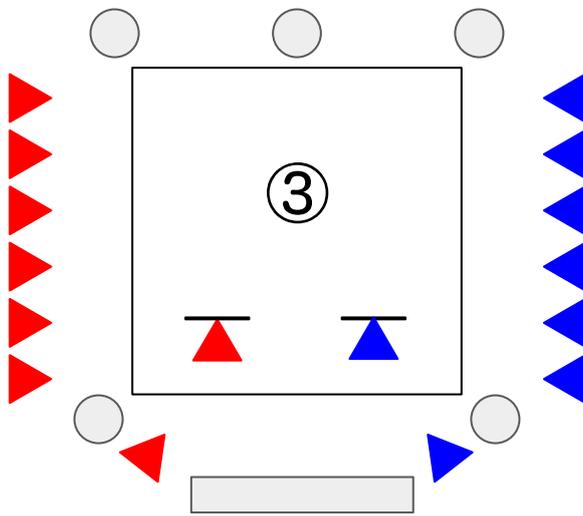
# 第7回JDKF. 空手道競技大会 形競技の入退場方法について



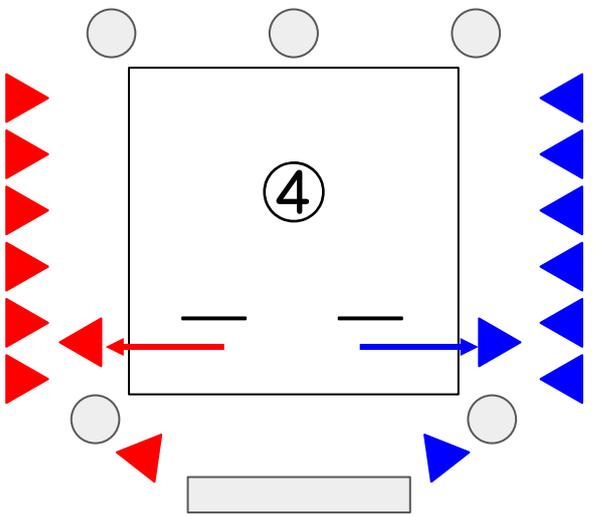
- ・選手はコート機の脇で待機する



- ・係員の呼び出しで返事をして開始位置へ入場
- ・直接斜め入場で開始位置まで入場する
- ・コートに入る前の礼は省略する
- ・正面に礼をして、赤の選手から順に形名申告（手話または発声）
- ・主審の合図で形をスタートする



- ・形が終了し礼をしたら開始位置に留まる
- ・笛の合図で審判が判定を行う
- ・主審が「赤（または青）の勝ち」を宣告する
- ・次の選手はコート機の脇で待機する



- ・判定後、選手は真横へ退場する
- ・係員は速やかに次の選手を呼び出す
- ・勝った選手は次の回戦の赤・青を聞いて移動
- ・負けた選手は退出する

- ・形名申告カードはコート招集時に係員に提出してください。
- ・大会のスムーズな進行にご協力をお願いいたします。